

令和6年4月1日

校長

令和6年度 学校経営計画

はじめに

本校は、昭和49年に東京都教育委員会が全国に先駆け、障害のある児童・生徒の希望者全員就学を実施した年に開校し、昨年度に創立50周年を迎えた。これまで地域の方々の深い理解や御協力に支えられながら児童・生徒が生きる力を身に付け社会に巣立ってきた長い歴史がある。地域の新たなランドマークとして、次の50年に向けて築いてきた地域の力を最大限に活用しながら教育活動をさらに展開していく。

障害の有無にかかわらず互いに尊重し合いながら暮らしていける共生社会を実現するためには、これまで以上に障害者の自立と社会参加を促進する必要がある。令和4年3月に策定された「東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画～共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進～」に即して基本理念の「共生社会の実現に向け、障害のある幼児・児童・生徒の自立を目指し、一人一人の能力を最大限に伸ばして、社会に参加・貢献できる人間を育成」するために、地域と積極的に連携し「社会に開かれた教育課程」を実現していく。そのためには、教職員の専門性を向上させ、児童・生徒一人一人の実態に応じたきめ細やかな教育内容を充実させ、特別支援学校のセンター的機能を発揮していく。

I 教育目標

人間性豊かに成長することを願い、児童・生徒の障害の状態や心身の発達の段階に応じて、知性、感性、道徳心や体力を育み、調和のとれた発達を図る。

II 目指す学校像

「子供一人一人が人間性豊かに成長し、地域で暮らす力を育成する学校」

- 1 児童・生徒の可能性を最大限に伸ばし、学ぶ、暮らす力の向上を実践する。
- 2 保護者、地域、関係諸機関との連携を図り、地域に根ざした学校づくりを進める。

III 目指す児童・生徒像

- 1 すすんで挨拶のできる児童・生徒
- 2 意欲的に学習できる児童・生徒
- 3 積極的に活動し健康な児童・生徒
- 4 思いやりをもって友達と楽しく活動できる児童・生徒

IV 中期的目標（3年）と達成に向けた方策

令和6年度中に完成予定の新グラウンド及び令和9年度完成予定の第二校舎改築工事を見据え、現在の学習環境を柔軟に活用し教育内容の充実を図るとともに、令和7年度通学区域拡

大に伴う通学環境を整備する。学習指導では、小中一貫した教育の充実を更に進める。令和6年度は、東京都研究指定校「言語活動及び読書活動の充実」の研究を行い、学校図書室の環境を整備する。また、GIGA スクール構想に基づき配備された児童・生徒一人1台のタブレット端末等のICT機器を活用促進し、児童・生徒の力を最大限に引き出す教育を推進する。

1 学習指導 分かる授業、できた喜びを感じられる授業の充実

- カリキュラム・マネジメントの視点で、児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導目標・指導内容の充実。
- 外部専門家と連携した指導内容・方法の充実
- 他の障害種別の特別支援学校と連携した重複障害への教育内容の充実
- 東京オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの実現に向け、国際理解やスポーツと芸術文化活動の推進
- 矢口祭や校内掲示など学習成果の発表機会の充実

2 生活・保健指導 安全・安心な教育環境の充実と規範意識の向上

- いじめ防止、体罰禁止の推進、教職員の人権感覚や意識の向上
- 規範意識の育成と社会貢献意識の向上
- 笑顔の挨拶励行(教職員の率先励行)
- 組織的な保健指導の充実
- 外部と連携した給食指導の充実

3 キャリア教育 自立・社会参加を捉えた教育の充実

- 小中一貫性の指導 生活に役立つ4つの力を育成（挨拶、一人通学、役割、掃除の力）
- 高等部につながる職業教育等の充実
- 地域連携を深めた作業学習の内容充実
- 地域資源を活用したインターンシップの充実

4 研修・研究 全校的な専門性の向上

- 授業公開等による授業改善（授業力のスキルアップ）
- 大学や専門家と連携し、障害種による学びの特性を理解した上での授業改善
- OJTによる授業力の向上
- 外部専門家を活用した教員の専門性の向上
- 東京都研究指定による指導充実「言語活動及び読書活動の充実」

5 センターの機能 つながりをお大切にした特別支援教育の推進

- 学校から発信する内容の充実（ホームページ、各種だよりなどの情報発信）
- 地域との連携（児童・生徒、教員の地域連携等）
- 介護等体験並びに地域大学等の実習の充実
- 福祉・医療・労働・区教育委員会等の関係機関との連携
- 小学校、中学校との特別支援教育推進のためのセンター的機能の充実
- 学校生活支援シート（ことりのシート）に基づく児童・生徒一人一人への支援の充実

6 防災・安全対策 危機管理体制及び緊急時の安全対策の充実

- けがや事故の未然防止の組織的な対応
- 校内環境の整備
- アクシデント報告及び分析による事故防止による危険回避対策の充実
- 地域と連携した総合防災訓練、帰宅支援ステーション、福祉避難所（障害者の二次避難場所）としての機能の充実
- BCP（事業継続計画）の内容充実

7 総合力の発揮と効率的な学校運営の推進

- 教職員の心構え（もてなしの心、笑顔での挨拶は児童・生徒の手本、保護者、地域の方の意見の傾聴、課題の整理と迅速な組織的対応）
- 課題を迅速に解決する組織（決定ラインの明確化、主体的な改善案の提案・実施、提案型の会議等）
- マネジメントサイクルによる学校校務分担の明確化と進行管理（PDCA）の徹底
- 東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画に基づき、校舎施設の課題整理
- 環境美化と環境整備の徹底
- ライフ・ワーク・バランスの実現に向けた取り組み

IV 今年度の重点目標と数値目標

<教育活動の目標と方策>

- 教育内容の充実
授業内容・指導方法の充実、「社会に開かれた教育課程」の推進
東京都研究指定校による「言語活動及び読書活動の充実」
- 外部専門員との連携・充実
- 施設・設備の充実と安全対策

★学習指導 分かる授業、できた喜びを感じられる授業の充実

- 1 分かりやすい教育環境の整備（教室環境整備マニュアル実施、Forms を活用した学期 1 回の点検）（研修研究部、生活指導部）
- 2 全校同一指標でのアセスメントを実施（太田ステージ、鳥の絵課題）
入学後の実態把握のためのアセスメント（小：NCプログラム、中：J★Skeps）
アセスメントに基づいた課題設定と個別指導計画（研修研究部、教務部）
- 3 単元案の蓄積・充実・教材ライブラリーの充実（教務部）
- 4 漢字検定の実施 3 回（漢字検定担当）
- 5 読書活動週間 1 回（司書教諭・全学級・総務部）
- 6 教材と単元（題材）集の各作成（ICT 教材を含む）一人 1 点以上（年度末校長室前掲示）
教材開発室の内容充実と管理アセスメントに基づいた教材作成（研修研究部）
- 7 教員の専門性向上のための外部専門員の活用（年間 80 回）（研修研究部）
- 8 食育活動の推進 各学年 1 回以上食育授業実施（栄養士、保健給食部）
- 9 東京オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの実施に向けてのスポーツと芸術文化

活動の推進と国際理解の充実（各教科等で実施）

- 1 0 矢口祭等における発表内容及び発表方法を工夫した取り組み内容の充実（総務部）
- 1 1 新グラウンド使用に向けた計画的な実施（体育科、教務部）

★ 生活・保健指導 安全・安心な教育環境の充実と規範意識の向上

- 1 2 「一人通学の力」の向上を目指した通学マニュアルの活用と改善（生活指導部）
- 1 3 いじめ防止（アンケート3回）、体罰禁止を推進。（学校いじめ対策委員会）
- 1 4 外部講師等を活用した人権研修会の実施(研修研究部)
- 1 5 緊急時対応マニュアルの見直し(学校安全委員会・生活指導部)
- 1 6 笑顔の挨拶の励行(児童・生徒・教職員)、校内挨拶検定の実施（進路指導部）
- 1 7 校内防災の日(3月11日)設定、毎月の避難訓練・安全点検の実施（生活指導部）
- 1 8 スクールバス保護者会（年1回）、スクールバス乗務員研修（月1回）、令和7年度に向けたスクールバスコースの検討と改善（生活指導部）
- 1 9 SOSカード・ヘルプカード等の使用方法の指導（生活指導部）
- 2 0 学校保健計画及び「保険・給食指導の手引き」の活用推進・改善（年1回以上）
（保健給食部）
- 2 1 学校保健委員会の内容充実・評価・改善（年1回以上）（保健給食部）
- 2 2 給食だよりの発行・内容充実（月1回）（保健給食部）

★ キャリア教育 自立・社会参加を捉えた教育の充実

- 2 3 生活に役立つ4つの力の育成（挨拶の力、一人通学の力、役割の力、掃除の力）
標語の掲示（全クラス他）、個別指導計画への目標掲載（教務部）
- 2 4 外部専門員による清掃研修の実施（児童・生徒、教員、保護者）
- 2 5 地域での販売実習実施（中学部 作業班）
- 2 6 矢口清掃校内検定の実施（中学部全学年）（進路指導部）

★ 研修・研究 全校的な専門性の向上

- 2 7 外部講師と連携した授業内容・指導方法の充実並びに学習評価・改善の確立、校内研究会、研修会の充実（年1回実施）（研修研究部）
- 2 8 特別支援学校教員免許状取得率の向上（対象教員）
- 2 9 新転任者のOJT体制による授業力の向上、授業研究協議会の実施、全教員の公開授業、自己申告面接とのリンク（一人1回以上、参観授業1回以上）（研修研究部）
- 3 0 ICT機器活用研修の実施、児童・生徒一人一台配置のGIGAスクール端末を活用した指導内容・方法の事例共有と指導力向上（情報管理部）
- 3 1 東京都研究指定校「言語活動及び読書活動の充実」（総務部図書担当）

★ センターの機能 つながりをおこなった特別支援教育の推進

- 3 2 ホームページ等の内容充実、更新30回以上（HP管理委員会、情報管理部）
- 3 3 教員のPTA等の交流活動、地域行事等への参加（各連携1回以上）
- 3 4 学校生活支援シート(個別の指導計画)作成、支援会議(専門家・地域関係諸機関との連携・充実)の実施20回以上（担任、コーディネーター、主任教諭、主幹教諭、管理職等）

- 3 5 区教育委員会連携によるエリアネットワーク会議5回以上、巡回相談40件以上、講演・出前授業8回以上（特別支援部）
- 3 6 副籍制度の充実と活用（担任、特別支援部）
- 3 7 大田区教育委員会連携による特別支援教育の充実（特別支援部）
- 3 8 大田区「ものづくりフォーラム」の作品展示参加 1回（特別支援部）
- 3 9 学校開放事業は、ボランティア講座・本人講座3回以上の実施（特別支援部）
- 4 0 学生向けボランティア受入（総務部）
- 4 1 学校見学・体験入学の受入（特別支援部、教育相談部）
- 4 2 一日体験入学・入学説明会の充実と評価・改善（年1回以上）（教育相談部）

★ 防災・安全対策 危機管理体制及び緊急時の安全対策の充実

- 4 3 物品の廃棄、整理整頓。 校内整備・廃棄年3回。（生活指導部・経営企画室）
- 4 4 学校安全委員会 8回（防災教育推進委員会2回を含む）
- 4 5 地域・保護者との防災等に関する研修（生活指導部）
- 4 6 宿泊防災訓練の実施と防災学習の充実（生活指導部、中学部）
- 4 7 ヒヤリハット・アクシデント報告・分析による事故防止（生活指導部）
- 4 8 安全指導日「事故・けが0（ゼロ）DAY」の設定と「事故防止強化デイ」（毎月17日）毎月各1回（生活指導部）
- 4 9 地域と連携した総合防災訓練、福祉避難所開設訓練実施とBCP充実（生活指導部、学校安全委員会、防災教育推進委員会）

★ 総合力の発揮 組織的な対応と効率的な学校運営の推進

- 5 0 OJTによる業務遂行、マネジメントサイクルの活用による進行管理（PDCA）の徹底、ミドルリーダーの育成（管理職、主幹教諭、主任教諭、担当全員、経営企画室）
- 5 1 服務事故防止研修及び個人情報研修及び情報機器の整理・整頓、自己管理、点検月1回並びに毎週金曜日のクリーンデスクを徹底（教職員全員、情報管理部）
- 5 2 東京都特別支援教育推進計画第3次計画に基づき、校舎等の環境整備等検討（学校経営会議）
- 5 3 教職員のライフ・ワーク・バランスに向けての取り組み・健康管理、組織的な学校運営を図る意識改革（報告・連絡・相談の徹底）。閉庁日5日間及び定時退庁ウイーク（長期休業期間）の設定
- 5 4 経営企画室連携による適正な予算執行の指針・四半期ごとの点検（経営企画室）
- 5 5 エネルギー使用量状況報告による節電等の実施（電気、ガス、水道使用量等）（経営企画室・全教職員）
- 5 6 合理的配慮を含めた校内環境整備の維持と継続（全教職員）